

2020年6月23日

パナソニック ホームズ株式会社

化学物質の室内濃度において国際的な基準をクリア
世界初、ULの「住宅向けグリーンガード認証」を5年連続取得
 ～戸建住宅で、「きれいな空気」を世界レベルで実現～

パナソニック ホームズ株式会社は、このたび、世界で初めて、住宅で室内空気質に関する国際的な認証である「住宅向けグリーンガード認証」(認証機関:UL Inc. 以下UL)を、2016年から5年連続で取得しました。^{※1}

住宅向けの同認証の取得をはじめ、5年連続の取得は、当社が世界で初めてとなります。パナソニックホームズは、戸建住宅で、健康・快適な暮らしに大切な「きれいな空気」を世界レベルで実現しています。

アメリカの第三者安全科学機関であるULの「グリーンガード認証」は、主に建材や家具から放散される住環境に存在する揮発性有機化合物(以下、VOC)について、300超の物質に対して基準値を設定し、VOCの総量であるTVOC量に上限を設けることで、未規制のVOCにも対応した認証制度です。

これと同じ認証基準でULが住宅向けに規定したものが、室内空気を直接測定して認証する「住宅向けグリーンガード認証」となります。

同認証では、高温の場合、より放散量が多くなるVOCの特性を鑑み、2019年以降、VOCの濃度測定実施時期を通年から4～12月に変更し、同認証における検証方法が厳格化されました。

パナソニック ホームズの戸建住宅は、上記のような検証方法の厳格化においても、建物本体を構成する材料、接着剤等から揮発する化学物質を抑制し、室内空気のVOCの濃度を国際的な基準以下に低減する改善・工夫を重ねることで、5年連続で同認証を取得することができました。

このほか、換気・空調システムでは、工業化住宅業界で初めて^{※2}、空気中のPM2.5^{※3}をはじめとする微小粒子を99.97%除去する^{※4}「HEPAフィルター」を採用したオリジナルの全館換気システム「HEPA+」や、全館空調システム「エアロハス」も用意。さらに、工業化住宅業界で初めて^{※5}、室内壁の下地材に「稚内珪藻土」を配合し、優れた調湿性能でカビ・ダニの繁殖などを抑制します。これらにより、「住宅向けグリーンガード認証」で認められた空気質と併せて、「きれいな空気」を実現します。



「住宅向けグリーン
 ガード認証」マーク
 (規格番号:UL3036)

◆概要

- 名 称 : 「住宅向けグリーンガード認証」
- 認証機関 : UL Inc.(本社:アメリカ合衆国イリノイ州ノースブルック)
- 対 象 : パナソニック ホームズの全戸建住宅(低層階・多層階)〈木造を除く〉
- 取得年月 : 2016年3月・2017年3月・2018年3月・2019年6月・2020年6月(5年連続)

◎ 「きれいな空気」の詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/common/kuuki>

◎ 全館空調システム「エアロハス」の詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/common/airlohas>

※1: 2020年6月時点。当社の戸建住宅(標準仕様)を完工した状態で1ヶ月以内に、ULが「住宅向けグリーンガード認証」の規格に基づき室内空気濃度測定した結果等により認証を受けたもの。仕様により本認証対象外になる場合があります(個別物件を認証するものではありません)。「グリーンガード」はUL LLCの登録商標

※2: 「HEPA+」は、「HEPA フィルター」を採用した全館換気システムとして工業化住宅業界初(2014年9月当社調べ)。「エアロハス」は、粒径0.3 μ mの粒子を99.97%除去する「HEPA フィルター」搭載の全館空調システムとして工業化住宅業界初(2017年3月当社調べ)

※3: PM2.5は粒径が2.5 μ m(マイクロメートル)以下の微小粒子状物質の総称。1 μ mは1mmの1000分の1

※4: HEPAフィルターの性能値。工場出荷時の初期性能になります。換気システム全体の数値を示すものではありません。また0.3 μ m未満の微小粒子状物質については除去の確認ができておりません。

※5: 工業化住宅業界で初めて、稚内珪藻土配合の石膏ボードを使用(1999年10月当社調べ)

<参考情報>

【ULの概要】

ULは、科学の活用によって安全、セキュリティ、サステナビリティ(持続可能性)における課題を解決し、よりよい世界の創造に寄与します。そして、先進的製品/技術の安全な導入を実現することで、信頼を高めます。ULのスタッフは世界をより安全な場所にするという情熱を共有しています。第三者調査から規格開発、試験、認証、分析/デジタルソリューションの提供まで、ULは業務を通じて、より健全なグローバル社会の構築を目指します。ULに対する信頼が、企業、メーカー、政府当局、規制機関、人々のスマートな決断を支えます。詳細はUL.comをご参照ください。ULの非営利分野の活動につきましては、UL.orgをご覧ください。

【株式会社UL Japanの概要】

株式会社UL Japanは、世界的な第三者安全科学機関であるULの日本法人として、2003年に設立されました。現在、ULのグローバル・ネットワークを活用し、北米のULマークのみならず、日本の電気用品安全法に基づく安全・EMC認証のSマークをはじめ、欧州、中国市場向けの製品に必要とされる認証マークの適合性評価サービスを提供しています。詳細はウェブサイト(www.UL.com/jp)をご覧ください。